

東京藝術大学COI拠点「『感動』を創造する芸術と科学技術による共感覚イノベーション拠点

デザインミュージック & サイエンス 「絆を育むイノベーション」

テーマリーダー：千住 明
(東京藝術大学 特任教授)
サブテーマリーダー：小川 類
(東京藝術大学 特任准教授)

概要と成果

デザインミュージック&サイエンスグループは、クリエイターの人材マネジメント「SENJU LAB.」研究とアートとサイエンスの融合による新しい芸術の創生「バイオシグナルアート」研究を通して、数多くのコンテンツ・プログラム制作を行っている。

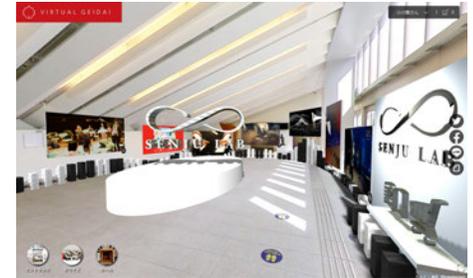
「SENJU LAB.」では、メンバーの技術や才能の提供は勿論のこと、専攻を超えたコラボレーションによる作品、企画を社会につなげていくことも目的に、周知の為のプロモーションや受託のマネジメントのシステムの研究開発を行い、NPOや他大学との連携、企業からの受託事業を実現している。

「バイオシグナルアート（東京藝術大学、立命館大学、順天堂大学連携）」研究は、身体に特殊センサーを装着し、それらのデータをさまざまな芸術制作に活用している。昨年度6月に社会情勢を鑑み、急遽、コロナ渦に対する対応プロダクトとして社会実装する計画に大きく舵を切った。骨格推定モデルや非接触形の技術を採用し、全面オンライン提供が可能な健康維持改良システムの実装をめざしている。
(<https://www.biosignal-art.net>)

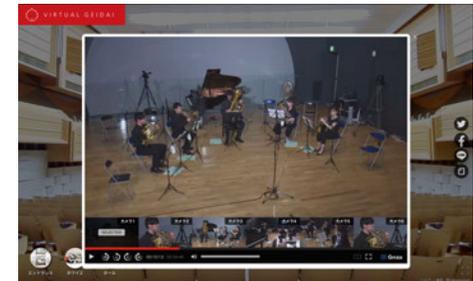
SENJU LAB. 映像作品上演展 「Notate with Nerve 神経で音を描く」



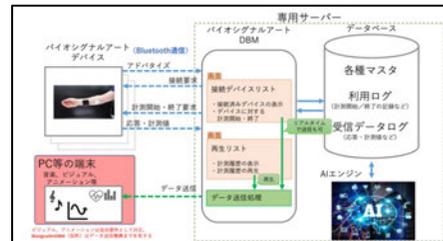
VR空間配信コンサート



「SENJU LAB.プラス」演奏会



「バイオシグナルアート」 データベースへの蓄積機能強化、及び 「AI」への接続機能追加のための開発図



スポーツクラブでの実証実験 「S&C Innovation Lab」

最新プログラム「Art of Body Motion」

